

発行：流山市議会
編集：議会広報広聴特別委員会
千葉県流山市平和台1-1-1 議会事務局内
電話04-7150-6099(直通)FAX 04-7150-2863
Email:gikai@city.nagareyama.chiba.jp

市議会だよりは2月、5月、8月、11月の年4回発行です。ホームページアドレス <https://www.nagareyamagikai.jp/>

令和8年度一般会計予算を可決 「初石駅西口利用者の安全性向上を求め る決議について」を全会一致で可決(6:8面)



写真コンクール入賞作品 二居 隆司さん撮影の「二茶」のつるし飾り「撮影場所：二茶双樹記念館」
撮影の背景 もうすぐ、ひな祭りの日でした。「二茶双樹記念館」に、つるし飾りがありました。心が穏やかに、思わずシャッターを切っていました。

令和8年第1回定例会概要

2月19日の開会日には、市長から「令和8年度流山市一般会計予算」のほか、国の物価高騰に係る交付金と補助金を活用し実施する児童手当受給者にこども一人当たり2万円を支給する経費、水道の基本料金を免除する経費や学校給食の食材購入に関する経費などの「専決処分」の承認を求めることについて(令和7年度流山市一般会計補正予算(第5号))「および下花輪福祉会館の浴室について、市民以外の者の利用を可能とする」ともに、その利用料を定める「流山市福祉会館の設備及び管理

2月26日の市政に関する一般質問は、2月24日から26日の3日間にわたり、14人の議員が登壇し行われました。(要旨4・6面)

2月26日の市政に関する一般質問終了後には、議案29件、陳情3件が予算審査特別委員会、各常任委員会に付託されました。各常任委員会では、3月2日から5日までの

4日間にわたり審査が行われ、予算審査特別委員会では、3月9日から11日および13日の4日間にわたり、審査が行われました。(要旨2・3面)

3月24日の最終日には、予算審査特別委員会、各常任委員会の委員長報告に対する質疑、議案・陳情に対する討論、採決が行われました。その後、議員からは「非核三原則

の堅持を求める意見書について、「重層的支援体制整備事業に対する方針転換に抗議し、十分な予算措置を求める意見書について」および「物価高騰を超える高齢基礎年金額の引き上げを求める意見書について」を含む5件の決議が提出され、質疑、討論、採決が行われました。(要旨6・8面)

クローズアップ

こどもの権利をまちの理念にー議会の取り組み

流山市では、こどもをめぐる課題に対し、行政による施策や市民活動が着実に積み重ねられてきました。こうした取り組みが進む中、市長は所信表明演説において「こどもの権利に関する条例」の制定に取り組む方針を明らかにしました。条例制定により、こどもを未来の担い手としてだけでなく、今を生きる一人の市民として尊重し、その姿勢を将来にわたって引き継いでいこうとする方向性が示されたことは、大変意義深いものと受け止めています。

流山市議会教育福祉常任委員会では、これまで委員会における議論や全国の先進自治体への視察を通じて、本市におけるこどもを取り巻く課題を整理してきました。具体的には、こどもの権利を包括的に位置づける仕組みの必要性、権利侵害時の相談・救済体制、不登校など多様な背景を持つこどもの学習機会の保障、こども・若者の意見表明や社会参画の場づくり、そして、こどもの権利や共生の理念を社会全

体に浸透させていくことの重要性などです。視察では、理念を明確に位置付けることが、行政施策や現場の実践に一貫性をもたらす、分野横断的な取り組みにつながっている事例も確認できました。

今後は、執行部において条例制定に向けた検討が進められていくことになり、議会として、これまでの委員会での検討や視察の成果を踏まえながら、そのプロセスや内容を丁寧に確認し、執行部に対し必要な

意見を述べていく役割を担っていきます。こどもの権利は、すべてのこどもに等しく保障されるべき大切な理念です。こどもの声がまっすぐに生かされ、すべてのこどもが安心して育つことのできる流山市の実現に資する条例となるよう、取り組んでいきます。



市内在住・在勤・在学の方を対象に
写真コンクールの作品を募集中
詳細は6面をご覧ください。